NPO法人JCC主催特別講座

キャリア自律を促す「企業内キャリアコンサルティング」の新手法　～開発型面談入門～

キャリア自律を促進する為には、従業員が来談するのを待つのではなく、積極的に働きかけてキャリア自律を促進する開発的な面談が不可欠です。同時に、自己充足と組織貢献の両立（＝適合状態）を目指し、個人と組織のWin-Winを実現する必要があります。

本講座では、講師 高橋浩と日本能率協会マネジメントセンター（JMAM）が共同で開発した「キャリア自律適合理論」に基づき、キャリア形成段階や組織適合状態をアセスメントして、これに応じた支援方法をおこなう手法について、ワークをまじえて学んでいきます。

日　時	9月14日（日）＆15日（月・祝）　10時～16時
開催方式	オンライン（Zoom利用）
講　師	高橋　浩　（ユースキャリア研究所　代表）
定　員	20名
参加費	一般25,000円（税込）、JCC会員 22,000円（税込）
申込方法	Peatixサイト（https:// jcc25nk2.peatix.com） または、JCCのホームページ（https://npo-jcc.org/） からお申込みください。

【講座の概要】

キャリア自律が叫ばれる中、多くの企業では「キャリア面談」や「セルフ・キャリアドック」の導入が進んでいますが、その現場では「従業員が主体的にならない」「面談が表面的で終わる」といった課題も少なくありません。キャリアコンサルタント養成講座では、キャリア自律の促進よりも、キャリアの悩み解決のスキルに重点が置かれていることもその一因と考えられます。

本セミナーでご紹介する「キャリア自律適合理論」は、従業員の来談を待つのではなく、従業員のキャリア形成を段階的に積極的に働きかける“開発型”の面談アプローチです。

お問合せ先：JCC事務局：info@npo-jcc.org　電話：03-6806-0693
ホームページ：https://npo-jcc,org/
講座責任者：小澤　：yozawa@key.ocn.ne.jp

本理論は、7つのキャリア形成段階（意志・自己概念・観望・適合像・目標と計画・実行・適合）に沿って、個々の従業員の状態をアセスメントし、段階に応じた関わりを体系的に行うことで、キャリア自律と組織貢献の両立を支援します。また、従業員が7段階の支援を通じて、体験的にキャリア自律のプロセスを学ぶことになります。

本理論に基づいた実践ワークを通じて、従業員・管理職・人事・キャリア支援者が共通の視点を持ち、組織全体で質の高いキャリア支援を展開できる枠組みを習得することができます。
セルフ・キャリアドックの強化、人材開発施策との連携強化、管理職による1on1支援の質向上を目指す企業に最適の内容です。

【講座内容】
９月１４日（日）10:00～16:00
・開発的キャリアカウンセリングとは
・キャリア自律適合理論の理論体系（７段階とアセスメント、支援）
・インテークでのアセスメントの仕方（支援段階の特定、適合状態の査定）
・#1キャリア形成意志、#2自己概念、#3観望のアセスメントと支援方法
・前半３段階の実践方法（動画視聴）とワーク（ロールプレイあり）
９月１５日（月・祝）10:00～16:00
・インテークでのアセスメントの仕方（支援段階の特定、適合状態の査定）
・#4適合像、#5目標と計画、＃６実行、＃７適合のアセスメントと支援方法
・後半４段階の実践方法（動画視聴）とワーク（ロールプレイあり）
・総合ロールプレイ
・その他、相談者向け自己診断、支援者向け面談振り返りシートなどの紹介

【講師紹介】
高橋浩(たかはし・ひろし)　ユースキャリア研究所代表
特定非営利活動法人日本キャリア開発協会理事
日本キャリア・カウンセリング学会 副会長
法政大学大学院/目白大学大学院/立正大学講師
博士(心理学)・キャリアコンサルタント・公認心理師

1987年、NECグループの半導体設計会社に入社。設計エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事し、2011年退職。2012年3月博士号取得、5月ユースキャリア研究所を設立。現在は、大学講師、行政や大手企業でのキャリアカウンセリング、キャリア開発研修講師などを務め、キヤリア支援に関する調査研究も行っている。

主な著書は、『セルフ・キャリアドック入門』(共著・金子書房)、『実践コミュニティアプローチ』(編著・金子書房)、『実践家のためのナラティブ/社会構成主義キャリア・カウンセリング』(共著・福村出版)など。